MAB-146A　1類　2003年6月2日発行

トステム株式会社

玄関ドアBF断熱枠　取付け説明書

■取付け上のお願い

●この説明書は、施工される方にお渡しください。
●取付けねじは、必ず指定のものを使用し、完全に取付けてください。
●化粧額縁部分は、下枠下端より100mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
●本製品は土間納まり専用の商品です。その他に使用する場合は防水処理を行ってください。

■使用ねじ一覧表

ⓐ	ⓑ	(仮止め用)
皿木ねじφ3.8×45	ナベタッピンねじ φ4×25	スクリュー釘 φ2.1×25

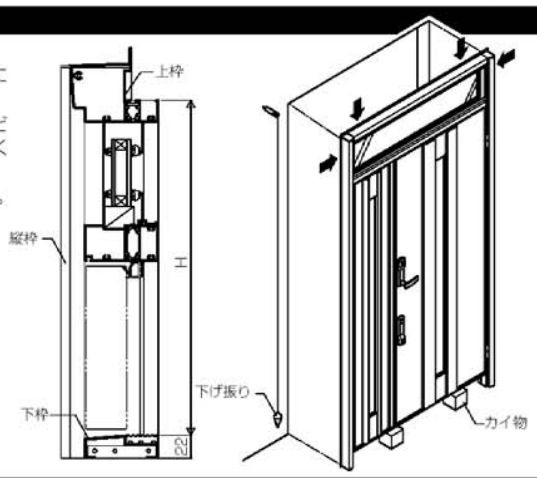
■取付け順序

1 開口部の確認

①開口寸法(H·W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
②下げ振りで前後·左右の狂いや柱同士のネジレなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。
③扉を枠につり込み、一体にして開口部に仮止めします。
➡印付近に、仮止め用の釘穴(長穴)があります。

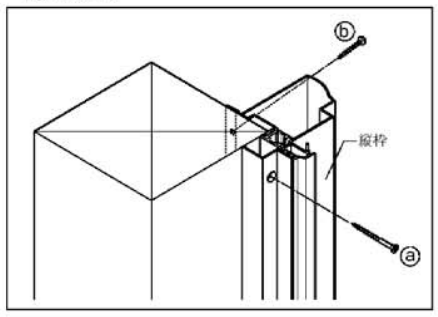
■製品基本寸法　単位:mm

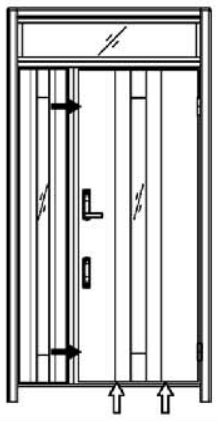
H	20	ランマなし	2037
		ランマ付き	2350
	23	ランマなし	2350
W		3R	924
		4.5R	1240
		4.5R(MM)	1320



2 躯体への取付けとすき間(チリ)の調整

①上下(⇧)及び、左右(➡)のすき間を均等にし、戸当り気密材が扉と密着するように枠のネジレ·コロビを調整します。

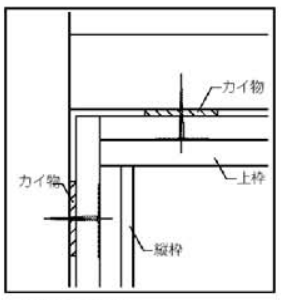


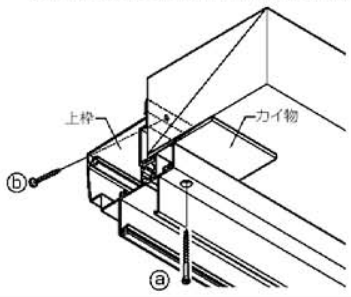


3 躯体への取付け(カイ物のお願い)

●枠と躯体とのすき間には、カイ物を当てて、固定してください。
※カイ物を当てずに固定すると、枠のゆがみやネジレを生じますのでご注意ください。

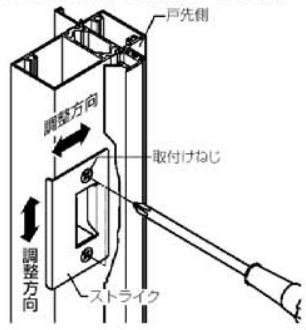
コンクリート納まりの場合
●上·縦枠アンカーは別売りを使用します。取付け説明書はアンカーセットの中に同梱してあります。





4 ストライクの調整

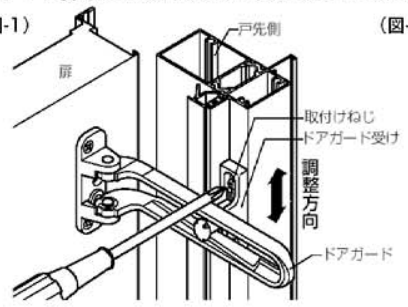
●ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



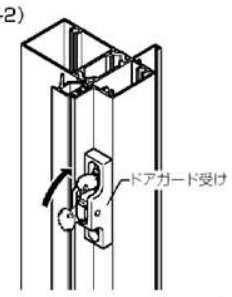
5 ドアガードの調整

※ドアガードが受けに掛からない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)
●ドアガードアームがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。(図-1)
●ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を起こしてください。(図-2)

(図-1)



(図-2)



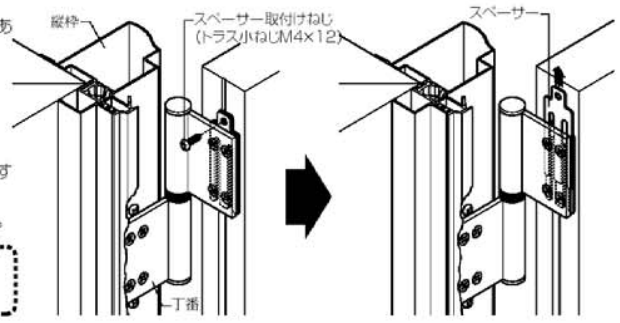
■建付け調整

※本体(又は子扉)をつり込んだ後、枠と本体(又は子扉)のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。
すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは右図を参考にしてください。)

■左右方向のすき間の調整

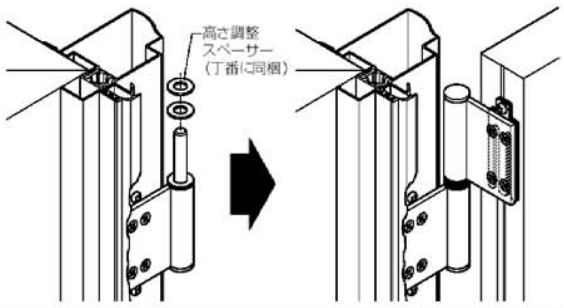
※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。
①スペーサー取付けねじを外します。
②丁番取付けねじ(4本)をゆるめます。
③スペーサーを引抜いて外します。
④丁番ねじを締付けます。
※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体がつり元側へ寄ります。
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

お願い
●丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落します。



■上下方向のすき間の調整

●ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。
※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上に上がります。

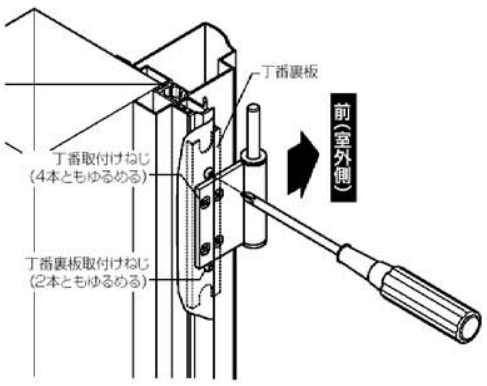


■前後(室内・室外側)方向の調整

①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

お願い
●取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと−1.5mmまでドア本体が動きます。
③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。

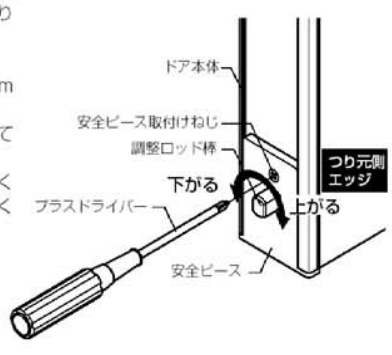


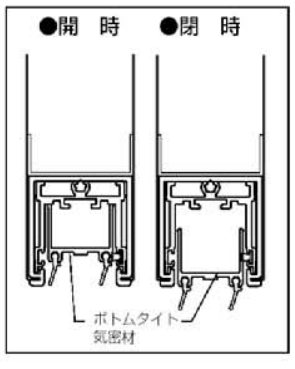
■ボトムタイト気密材の調整(単体または親扉のみ)

●ドアの下に紙をはさんで閉め、紙が抜けにくい事を確認します。
〔簡単に抜ける場合〕… ボトムタイト気密材を下げ、下枠とのすき間を小さくします。
〔全く抜けない場合〕… ボトムタイト気密材を上げ、下枠とのすき間を大きくします。

【調整方法】

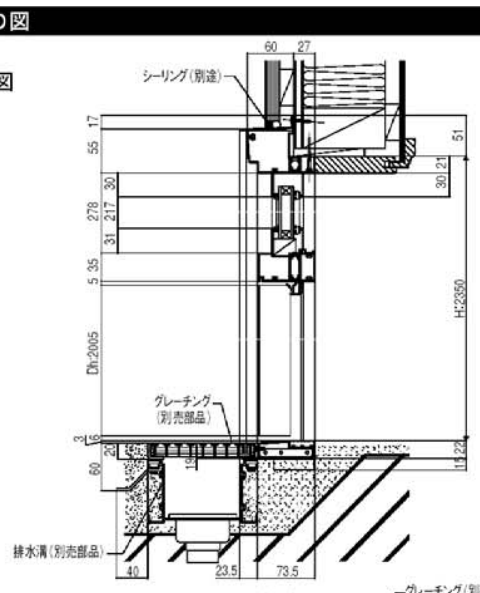
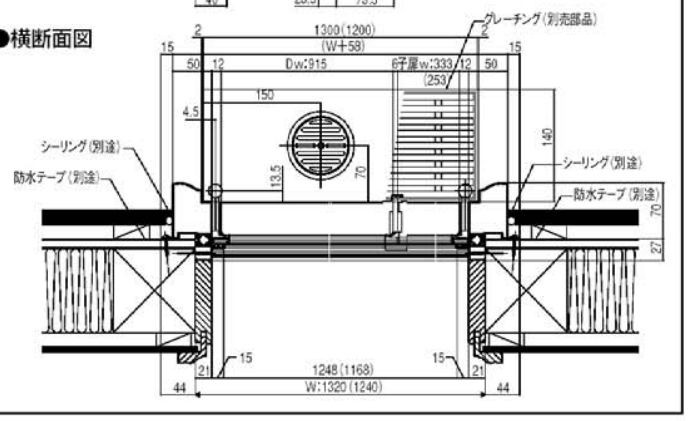
①本体の安全ピース取付けねじをプラスドライバーで外し、安全ピースを取り外します。
②手で調整ロッド棒を180°回します。
※右に回すとボトムタイト気密材が1mm上がり、左に回すと1mm下がります。
※必要な場合のみ、さらに180°回してください。
※調整ロッド棒は左に回しすぎないでください。安全ピースが取付けられなくなります。
③安全ピースを取付けます。





■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図